Ota City Labor Union Paper

職友おおた

発行人：執行委員長　小林 克敏　／　発行元：太田市職労教育宣伝部

太田市職労

29
2022
30th.Jun

《バレーボール》果敢な攻めで圧倒　太田市職労が連覇　今夏関東大会へ

６月 11 日（土）、渋川市「渋川市赤城総合運動自然公園アリーナ」にて自治体職員等スポーツ大会（女子バレーボール）が開催され、太田市職労（太田市役所バレーボール部）は伊勢崎市職労と前橋市職労を破り優勝。前回大会に引き続いて連覇を果たし、９月に神奈川県で行われる関東大会への進出を決めた。

今大会は太田市職労、前橋市職労、伊勢崎市職労の３チームによる総当たり戦。最も勝数の多いチームが優勝となる。ルールは９人制バレーボールで、21 点先取の３セットマッチで行われた。

１戦目は、近年実力を発揮している伊勢崎市職労。今大会で最も苦戦すると思われたが、序盤からコートを左右に広く使って積極的に攻撃を展開。攻撃の強度を落とすことなく終始攻め続け、21－9、21－12 で各セットを奪い勝利した。

連続試合となった２戦目の前橋市職労戦でも、初戦の好調を維持しながら主導権を渡さず試合を展開。終わってみれば 21－8、21－2 と各セット相手に２桁得点を与えず圧倒。２戦とも相手を寄せ付けず、１セットも落とすことなく全勝し、堂々の優勝を果たした。

大会最優秀選手賞は、レフトからの強烈なスパイクを何度も決めていた入職３年目の三瓶（地域総務課）、優秀選手賞は、最終セットの連続サービスエースで勝利に貢献した新採組合員の山田（資産税課）がそれぞれ受賞。

太田市職労（太田市役所バレーボール部）は群馬県代表として９月初旬に神奈川県で開催される関東甲地区大会（交流試合）に出場予定。全国大会は野球とバレーが隔年で開催されるため今年は実施されないが、関東大会優勝も十分狙える太田市職労。活躍が期待される。

八木田県議ってどんな人？

vol.1

八木田やすゆき県議と太田市職労とのあゆみ

review

八木田 恭之（やぎた やすゆき）
1962 年 1 月 1 日生まれ
学歴　太田市韮川小・北中学校
　　県立太田高校・東洋大学
職歴　1985 年太田市役所入職
　　2014 年太田市役所退職
　　2015 年太田市議会議員
　　2019 年群馬県議会議員
太田市役所職員労働組合特別執行委員
太田市ラグビー協会会長

配偶者同行休業制度について

今年、県議当選１期目を満了する八木田やすゆき議員。元太田市職員であり太田市議会出身でもある八木田さんは、我々太田市役所職員労働組合の声を代弁する組織内議員。今号では八木田県議の過去の大きな功績を振り返り組織内議員の有効性について考えたい。

組織内議員と労働組合が連携して働きかけを行うことで、
組合員の要望に応えることができました。

2012 年 2 月、国家公務員の継続的な勤務を促進するため、外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にするための休業制度（配偶者同行休業制度）が創設された。国の制度整備後、実際に地方公務員に適用するためには条例化が必要だったが、県内他市の条例化もまちまちであった。太田市にも配偶者の海外赴任同行を希望する組合員がいたが、太田市ではこれを認める条例が整備されていなかったことから、海外へ同行するには退職せざるを得ない状況であった。

太田市職労では「配偶者同行休業制度の条例化」を改めて当局に要求したが反応が芳しくなかった。八木田議員（当時は市議）に組合員の声を伝え、協力を要請。八木田議員は、太田市職労と連携しながら、当局（人事課）へ条例整備の働きかけや議員として議会での調整に尽力。2017 年賃金確定闘争にて組合から条例化することを要求し、翌年 4 月 1 日施行開始。晴れて組合員は休業承認を得て配偶者の海外赴任へ同行することができた。